

市政報告ニュース 第20号 2013年春

藤沢台在住 金剛高校1期生

富田林市議会議員

尾崎 てつや

緑と子どもたちの歓声があふれる富田林をめざして！ www.ozaki-tetsuya.jp

こんにちは、富田林市議会議員の尾崎てつやです。日ごとに春の訪れを感じるようになりましたが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

皆様方の温かきご支援とご指導のもと昨年4月に市議会議員として10年目を迎えることが出来ましたことに心より御礼申し上げます。そしてこの節目の年に**市議会議長を拝命し、その重責を全うすべく全力で邁進しております**。この間公務として皇居にて天皇陛下下拝謁や各議員のご賛同のもと、富田林市議会の全会一致により削減した議員歳費および政務調査費の5%相当分を合わせた817万円をお届けすべく被災地である岩手県大槌町を訪問させていただくなど、有意義かつ充実した議員活動を務めさせて頂いております。

さて、先の富田林市議会3月定例会において平成25年度予算が議決されました。一般会計の総額は昨年に比べて3.6%増の総額381億6千万円で、防災安全・福祉施策に重点配分した予算編成となっています。しかしながら、依然として厳しい経済情勢と人口減少・少子高齢化を要因とした市税収入の伸び悩み、さらには国から地方公共団体に交付される地方交付税の削減により本市は今後もますます厳しい財政運営を強いられます。このような状況に立ち向かうためには、**今、私たちにあって本当に必要なものは何かを取捨選択し、皆様方の「想い」を市政に反映させることが必要不可欠です**。私は、これからも**「市民のアクションにより政治は変わる」**を政治信条として、**みなさまの「想い」を「カタチ」にすべく活動してまいりますので**、更なるご支援を賜りますようお願いいたします。



校庭に「緑のじゅうたん」

藤沢台小学校の運動場が芝生化されます

私の公約の一つであります「校庭芝生化」の本市内での5校目の取り組みとして、関係者のご尽力により平成25年2月28日(木)に藤沢台小学校で芝生張りが実施されました。

この日は朝から、子どもたち・保護者・先生・地域の方々に参加され、私も「藤沢台小学校運動場の芝生化事業実行委員会」のメンバーとして一緒に芝生を張りました。4月中ごろには青々とした芽を出し、ゴールデンウィークの頃には「緑のじゅうたん」が現れる予定とのことで、ワクワクしながらその日を心待ちにすると共に、当日にご参加いただきました皆様方に心より感謝を申し上げる次第です。



▲平成23年6月に芝生化された伏山台小学校

これまでに校庭が芝生化された学校では、体育の授業やクラブ活動、休み時間の遊び、運動会での保護者席など、さまざまな場面で芝生が活用されています。そしてそのメリットとして、転んでも怪我をしにくい・子どもたちがゆったりとした時間を過ごしたり、思いっきり走り回ることが出来る・照り返しが少ないので夏場でも過ごしやす・砂ぼこりが飛散しにくい等が挙げられています。

私はこれらのメリットを通じて**学校が地域の人々の交流拠点となり、地域コミュニティの醸成に大きな役割を果たすことが期待できる**として校庭芝生化を公約とし、市議会でも提案してまいりました。今後も校庭芝生化のさらなる充実のため取り組んでまいります。



とんだばやし未来 視察報告

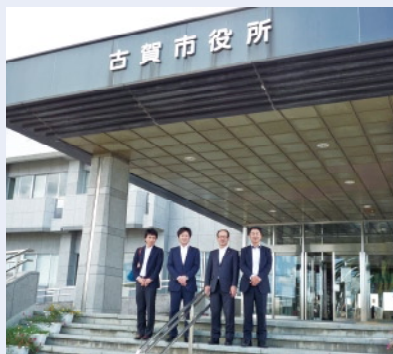
先進事例を学び、政策提案しています

平成24年10月

まちなか暮らし・にぎわい再生事業……福岡県古賀市

福岡県古賀市の「古賀市まちなか暮らし・にぎわい再生事業」を視察してきました。この事業は高齢化率が高く将来的にコミュニティ活動に支障が生じると予測される地域において若者の転入を促進するため、古賀市に転入してきた若者のうち住宅購入し、かつ一定の条件を満たした対象者には1軒当たり20万円を補助するというものです。

高齢化が進む本市でもこのような若者の転入を促進する事業を展開を実施してはどうかと市議会で提案しました。



▲福岡県古賀市役所



▲水俣市立水俣病資料館

その他の視察

熊本県玉名市 「玉名21の星事業 一区一輝運動」
熊本県水俣市 「環境モデル都市づくり」

平成25年2月

職員ビジネスカレッジ……東京都荒川区

東京都荒川区の職員ビジネスカレッジを視察してきました。荒川区では「区政は区民を幸せにするシステムである」との考えの下「職員ビジネスカレッジ」を推進しています。これは区民の幸せのために自らを高め磨いていこうとする職員が集う組織内大学です。入庁2年目から係長級までの職員を対象として週1回で2年間行われます。1年目は各界で活躍されている講師を招き講義を受講し、2年目は区役所の管理職が講師となり特定のテーマについて学びます。この制度はまさに学ぶ気・やる気がある職員には充実した制度であり、違う課の職員とも交流が図られ、仕事内容も把握できます。また、この取り組みが荒川区で行われてから新規採用希望者が5倍ほど増加しているとのことです。



▲東京都荒川区



▲埼玉県庁

その他の視察

千葉県柏市 UR集合団地における長寿社会のまちづくり
埼玉県庁 「アスポーツ事業 教育支援制度」

街にファームがやってくる

昨年は各種関係団体のみなさんのご尽力により大成功した、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦が今年も開催されます。日程は平成25年7月14日(日)、場所は総合スポーツ公園野球場から名称が変更された「富田林パファローズスタジアム」です。対戦カードは、オリックス・パファローズvs福岡ソフトバンクホークスで、13時試合開始です。チケットは 6月1日(土)から本市常盤町の上野スポーツ様で販売される予定です。

詳しくはスポーツ振興課まで
(0721-20-0390)



▲中日ドラゴンズ 鈴木孝政2軍監督に花束贈呈



▶ 昨年のパファローズ vs ドラゴンズ

小学生の頃の夏休みの思い出の中で真っ先に浮かび上がるのは、毎日のように通った市民プールです。そこに行けば友達がたくさん来ていて時間を忘れてみんなで楽しく遊び、帰りには母親からもらったお小遣いでアイスクリームを買い、帰宅しての昼寝の後、また友達と日が暮れるまで遊んだことが頭の中を駆け巡ります。このような想いにはせるのは私だけでしょうか？

昨夏、施設の老朽化のため市民プール4か所すべてが閉鎖されました。代替措置として教育委員会のご尽力により喜志小・寺池台小・第二中・第三中の学校プールが約2週間開放されましたが、子どもたちにとっては、少

し残念な夏休みとなったのではないのでしょうか。

長い休みの間、子どもたちの居場所としてだけではなく、体力強化や規則正しい生活習慣の確立、親子の触れあい、さらには思い出作りとしても市民プールは大きな役割を果たします。

厳しい財政状況において、従前のように市内の東西南北4か所で市民プールを運営することは困難ですので、少なくとも東部と西部それぞれに1か所ずつの市民プールが復活するように、平成24年9月議会でも質問を行いました。今後も全力で取り組んでまいります。

尾崎てつや とんだばやし未来議会質問(抜粋)

平成24年度の「とんだばやし未来会派」の議会質問の一部をご報告させていただきます。

詳細については、富田林市議会のホームページ(<http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/gikai/index.html>)の映像配信をご覧ください。

市民プール事業について 平成24年9月議会

Q 質問 本市では老朽化などの理由により市民プールが閉鎖され、その代替案として市内の4つの小・中学校のプールが開放された。しかし、対象者の規定により幼児が利用できなかったことや利用期間が短かった事で、「小さい子どもが入れないので兄弟で一緒に利用できなかった」や「開設期間が短く、子どもたちの行き場が減り困った」などの声が寄せられた。今後、市は市民プール開放事業についてどう考えているのか。



A 答弁 市民プールのあり方については学校プールの開放の実績、アンケート結果、市民の声などを踏まえて検討していく。

中学校給食「ふれあいランチ」創設に向けて 平成24年12月議会

Q 質問 核家族化の進行により高齢者と暮らす家庭が少なくなり、子どもたちが日々お年寄りに接する機会が減ってきている。子どもたちが優しい心を育むためにはお年寄りとの交流も大きな役割を果たすと考える。また、お年寄りのみで暮らす高齢者世帯の方もこのような交流を望んでおられるのではないかと。そこで、地域の人や高齢者や大学生と生徒たちが学校で給食と一緒に食べる「ふれあいランチ」の創設を提案するが、見解を問う。



A 答弁 学校やPTAなど関係者と調整し、方策を検討しながら、来年度にモデル的な形で実施してまいりたい。

子どもたちの安全対策 平成25年3月議会

- (1)通学路の安全対策について (3)部活帰りの安全対策について
(2)学童保育帰りの安全対策について (4)塾帰りなどの安全対策について

Q 質問 昨年、集団登校中の小学生の列に車が突っ込み多くの犠牲者を出す痛ましい交通事故が起きた。文部科学省は、各自治体に対して通学路の緊急合同点検を実施するよう要請し、本市では昨年9月通学路の緊急合同調査表を出した。しかし、この調査表を見ると危険箇所が1か所や2か所しかない学校がある。果たして本当にそれだけなのか。またその結果を受けて今後どのように通学路の安全対策を進めていくのか聞く。

A 答弁 路側帯のカラー舗装、注意看板の設置、交差点改良、信号機設置など関係機関と連携し順次整備していく。また、安全点検を継続的に実施し対策を講じていく。

Q 質問 学童保育や部活帰りなどは下校時間が遅くなる。人通りや通行車両の減少、日没による暗がりなど地域の実情に応じた安全対策が必要であると考え。また、多くの子どもが塾通いをする今日において、夜8時から11時の時間帯において塾帰りの児童や生徒を多く見かける。塾通いはあくまでも保護者の監督下による自己責任と考えるが、行政が何かしらの安全確保に関わることが出来ないのか、見解を聞く。青パトの活用やタクシー、運送業者、郵便局などの民間業者などの連携、協力も含め対策を考えてはどうか。

A 答弁 下校時対策としては、方向が同じ児童は「一緒に帰宅する」等の声掛けを行い集団で下校している。学童保育については、保護者によるお迎えを利用条件としている。塾帰り対策としては、青パトの活用や民間業者との連携も含め検討する。



▲全国市議会議長会
東京都日比谷公会堂(5/23)



▲岩手県大槌町議長に義援金を届けてきました(5/24)



▲富田林病院お産センターオープン記念式(6/1)



▲寺内町燈路(8/25)



▲富田林市敬老会(9/6)



▲すこやかネット葛城
葛城中学校(10/20)



▲富田林市防災訓練
小金台小学校(11/4)



▲商工祭 市職員の特定
検診PR隊「けんこう小
町」と共に(11/11)



▲富田林市成人式(1/14)



▲五軒家 初午餅まき
(2/10)



▲すこやかネット藤陽
ふれあい祭り向陽台小学校
(2/23)

尾崎 哲哉 プロフィール

昭和39年 富田林市五軒家生まれ
富田林市藤沢台在住
久野喜台小学校、金剛中学校、金剛高校(1期生)
中学、高校時代は陸上部主将
大阪商業大学卒業
昭和62年 富田林市議会議員選挙にて初当選
平成15年4月 富田林市議会議員選挙にて2期目の当選
平成19年4月 富田林市議会副議長に就任
平成20年 富田林市議会議員選挙にて3期目の当選
平成23年4月 富田林市議会議長に就任
平成24年5月 海釣り、サザンオールスターズ、バイク、映画鑑賞、沖縄
お気に入り
ホームページ www.ozaki-tetsuya.jp



ご意見・ご要望等お聞かせください

子どもから高齢者まで、より多くの方からご意見を伺い、政策を立案し、行政に提案していくという活動が、これからの富田林市を創っていく上で重要であると考えています。
「ちょっと時間あるから」、「堅苦しいものでなく“ざっくばらん”に話したい」等、どんなことでも結構ですので、お電話、ファクス、Eメール等にて下記までご連絡ください。

救急医療情報キットを配布しています。

「一人暮らしの高齢者」、「高齢者のみの世帯」、「障がいのある方」などが、自宅から救急車を呼んだ際に必要となる「緊急連絡先」、「かかりつけ医」、「持病」、「服薬内容」などを記載した救急情報シートを専用の容器に入れ、冷蔵庫に保管しておき緊急時に備えるものです。詳しくは高齢介護課まで。



▲救急医療情報キット